

## ※開智日本橋学園中学校 (帰国生)※

### ～ 概要～

- **試験形式** : 英語 (Writing Section)、面接、算数、国語で構成される。 : 英語の試験時間は 50 分。試験名は「Writing Section」だが、実態は「読解+記述」の総合問題である。
- **設問概要** : [Part 1] Reading Comprehension (長文読解、語彙、図表読み取り、根拠の抜き出し) : [Part 2] Short Response #1 (画像分析・エビデンス記述) : [Part 3] Short Response #2 (意見記述・経験と本文の統合)
- **時間配分予想** : 50 分という短い時間の中で、約 500 語の長文を読み、かつ記述 (ライティング) を 2 本仕上げる必要があるため、極めて高いタイムマネジメント能力が求められる。

### ～ Part 1: Reading Comprehension～

- **形式** : 説明文 (Green Spaces) を読み、内容一致や適語補充を行う。
- **ポイント** : 特徴的なのは "**Write one sentence exactly as it appears in the passage** (本文通りに一文を書き抜きなさい)" という指示。本文の根拠 (エビデンス) を正確に特定し、スペルミスなく書き写す精緻さが求められる。

### ～ Part 2: Short Response #1 (画像分析)～

- **形式** : 2 枚の画像 (公園の風景とビル街の風景など) を見て、読解文 (Green Spaces) の内容を理解するのに最も役立つ画像を選び、本文の証拠 (Evidence) を使って理由を書く。
- **ポイント** : 視覚情報とテキスト情報を結びつける力 (Visual Literacy) が問われる。単なる感想ではなく、本文の内容を引用して論証する必要がある。

### ～ Part 3: Short Response #2 (意見記述)～

- **形式** : 読解トピックに関連した質問 (学校に緑地を持つべきか?) について、自分の経験と本文の情報を使って答える。
- **ポイント** : Information from the reading passage (本文の情報) と own experiences (自分の経験) の両方を盛り込むことが条件。

### ～ 総評～

- **傾向** : IB (国際バカロレア) 校の特徴が色濃く出ており、単なる英語の流暢さだけでなく、「探究スキル」と「学術的な作法」が重視されている。特に「証拠 (Evidence) の提示」や「情報の正確な引用」が合格の鍵となる。 : 最大の特徴は「根拠の引用」や「画像とテキストの統合」といった特殊なタスクが求められることです。 **インター TOMAS** では、完全 1 対 1 の個人別カリキュラムで生徒一人ひとりの答案を細かく添削し、IB 特有の「根拠に基づく記述 (Evidence-based Writing)」を習得させるための最短最速の指導が可能です。